

## 高等学校における授業改善に向けた取組について

### 1 背景

#### 生徒の学び「令和の日本型学校教育」

- ・個別最適な学び
- ・協働的な学び

→ 一体的な実現

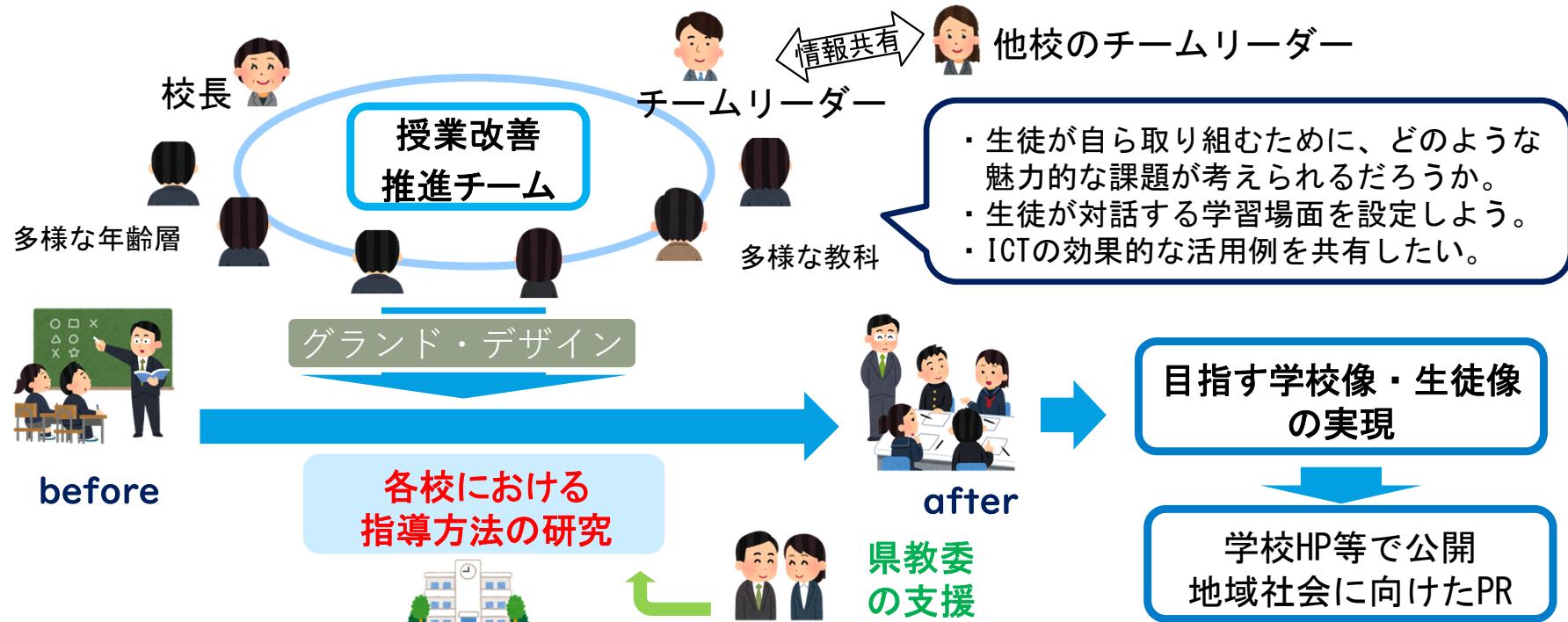
「主体的・対話的で深い学び」の  
実現に向けた授業改善

#### 教師の学び「新たな教師の学びの姿」

- ・変化を前向きに受け止め、探究心を持って自律的に学ぶ。
- ・教職生活を通じて継続的に学ぶ。
- ・自らの強みを伸ばす個別最適な学びを行う。
- ・協働的な学びを通じて成長する。
- ・子供の学びと教師自身の学びをリンクさせる。

### 2 授業改善推進プロジェクト

- 令和5年度より全県立高等学校等で実施
- 自校の教育目標を達成するための授業改善を組織的に実施
- 各校に授業改善推進チームを設置し、授業改善に向けて学校が自走することを目指す



## 高等学校における授業改善に向けた取組について

### 3 各校における指導方法の研究

取組例	概要	工夫点
佐和高校  	生徒も授業改善の協議に参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善へ向けて生徒の視点を共有</li> <li>わかりやすい授業、改善してほしい授業、授業の工夫点等 (例) グループワークがあると互いに教え合い、理解が進む</li> <li>生徒の意見を参考に研究協議を実施</li> <li>協議内容はドキュメントに入力して共有</li> <li>相互授業参観後は、フォームやスプレッドシートでフィードバック</li> </ul>
伊奈高校   	教員間の時間と教科をこえた協議	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科をこえて学年の2クラスの担任副担でチーム編成 →授業を撮影してドライブに保存、都合のよいタイミングで視聴</li> <li>オンライン上または対面で研究協議を実施</li> <li>「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向けた授業の視点を参観のポイントとすることで、教科をこえて参観・省察が可能</li> </ul>

### 4 成果と今後の展望



県教委の伴走



- 各校の課題や取組状況、優れた実践例を共有し、更なる授業改善へ
- 学校の要請に応じて支援訪問実施

学習活動の改善や進路決定につながる



授業改善により生徒の学びがより充実し、未来を切り拓く力が育成される

